

根来山げんきの森だより 193号

根来山げんきの森倶楽部
<http://genkinomori.jp/>

あけまして おめでとございます



と



ら

げんきの森は、お正月7日から開園しています。
1月・2月は、開園時間が9時～16時です。

ヤマコウバシ (クスノキ科)

ようやく秋も開けてきた様子の里山で、黄色にわずかな赤が混じる葉をつけた灌木が目につきます。落葉樹ですが、葉に触れてみると意外と肉厚。ヤマコウバシの紅葉です。

この木は落葉樹としては珍しく、冬になってもほとんどの葉が落ちずに白っぽい茶色の枯れ葉を枝にくっつけたまま冬を越す樹木です。一般的に樹木が葉を落とす時には、葉に蓄えた窒素などの養分を幹に回収すると、それが終わった葉との間に離層という遮断面を作って、そこから葉を切り離してしまうのですが、ヤマコウバシの場合はその離層を作らないようなのです。離層を作らないということは養分の回収を行ってないのかもしれませんが、そのあたりのことを調べたデータは見つかりませんでした。冬のヤマコウバシの葉を見ると、葉の付け根の部分にわずかですが緑が残っている葉もあって、これを見ると、これらの葉はまだ枯れきっていないということがわかります。珍しい性質の樹木です。

また、ヤマコウバシは雄株が見つからない植物として有名です。2021年2月に大阪市立大学からこのことに関する研究結果が発表されたのですが、遺伝子検査の結果、驚くべきことに東北から九州に広がっている日本中のヤマコウバシの遺伝子がすべて同じで、これは日本中のヤマコウバシが1本の木の正確なコピー、すなわちクローンであることが明らかになったのです。ソメイヨシノが1本の木から接ぎ木で増やしたため、日本中のソメイヨシノはみんなその1本の木のクローンであるということは有名な話ですが、ヤマコウバシはこうした人の手を借りずに親のクローンとなるタネを作って増殖していたということが明らかになったのです。中国にはちゃんと雄株と雌株のヤマコウバシがあるそうです。ある時、日本にある特殊能力をもった1本の雌株のヤマコウバシが渡ってきて、これがビッグマザーとして

日本中のヤマコウバシ達の母となったということなのでしょう。まるで神話のようなお話です。

普通、植物はめしべにおしべから運ばれてきた花粉がくつき受粉して種子ができるのですが、ヤマコウバシの場合は花粉なしで種子をつくっています。おまけに、種子は本来、雄株と雌株に育つそれぞれの性を持っているはずなのですが、ヤマコウバシは雌株に育つ種子しか作っていません。生命の不思議と片付けるしかないのですが、このビッグマザーはとんでもない能力の持ち主だったのです。そんなビッグマザーの子どもたちがげんきの森にもたくさん見られます。



令和3年11月 作業日誌

活動日：令和3年11月21日 9:30～15:30

天気：晴れ 倶楽部員：39名

【うるし谷整備】10:00～15:00

先月の主役きんもくせいの花も時季を過ぎ、本日は定番の「広場周辺の草刈」です。広場北側山斜面が作業場です。

9人が参加し、各々手鎌、竹鋸、剪定ハサミ、それと一人草刈り機1台。ここには平成31年度に植樹したクヌギ32本とウバメガシ数本があります。植樹周辺の草や竹を刈ると各々が姿を現わしてきます。背丈も50cm程で成長の勢いとか色々です。大人数と冬場で草の成長が遅い分作業もはかどり、午前中にきれいに仕上がりました。除草された斜面で南天が真っ赤に燃えております。

午前の休憩時Yさんから漆に関連した根来塗と黒江塗の話を押聴。午後は広場奥の漆植樹園で樹齢4～5年生の漆の木を見学。猪の食害にあいながら、背丈以上に大きく育ったものも多数ありました。そして園の端でお茶の木に覆い被さっている竹や雑木を伐採。その雑木に絡まったやまいものつるに大粒のムカゴが沢山あり、高齢者に交じって頑張っている10代Iさんに収穫および食してもらうことになりました。(藤園 満郎)。



【被害木処理】10:00～15:00



カシノナガキクイムシのため立ち枯れしたコナラを伐採しました。この日の伐採処理班は人数が少なく、午前中は5名、午後は最初3名で終盤に2名参加のみでした。

枯れ木は、作業中に枯れ枝が折れて落下しやすいので注意しながらの作業となりました。伐採経験の少ない倶楽部員に、熟練者がロープのかけ方やチェーンソーの仕組み、伐採時の注意点などをレクチャーしていただきました。(神浪 佐知子)

根来山げんきの森倶楽部の活動と催し

12月4日(土) 13:00～ 自然観察会
17:00～ 運営会

5日(日) 10:30～ オオムラサキ探検隊①
(座学とフィールドワーク)

19日(日) 9:30～ 定例活動

25日(土) 9:30～ 竹細工同好会

10:00～ 木工同好会

27日(月) 9:30～ 大掃除

12月28日(火)～1月6日(木)まで閉園

1月・2月は自主開園(9:00～16:00)

1月7日(金) 9:00～ 開園

8日(土) 13:00～ 自然観察会

16:00～ 運営会

15日(土) 8:00～

めぐみと森のようちえん お餅つき

16日(日) 9:30～ 定例活動

9:30～ オオムラサキ探検隊②

(クヌギ植栽予定地地拵え)

22日(土) 9:30～ 竹細工同好会

13:00～ 木工同好会

それぞれの活動のお問い合わせ、申込みは事務局または管理棟(Tel&FAX 0736-61-7233)まで。火曜定休日
事務局 E-mail: forest-o@ares.eonet.ne.jp



根来山げんきの森 1月の催し

1/8(土) 自然観察会

初春のげんきの森をインストラクターと一緒に観察しましょう。

日時：1月8日(土) 13時～15時

参加費：200円(小学生以上)

申し込み：当日でも結構です。管理棟へ。

昆虫調査隊員募集中：

基本的に子どもを中心に、その保護者と活動しています。活動日は奇数月の第2日曜日。昆虫の好きな方は参加してみてください。

倶楽部員募集中：

私たちと一緒に、森林公園の整備やいろいろな活動をする仲間を求めています。いつからでも入会できます。